

2021年度 日本工学院八王子専門学校											
音響芸術科											
実習・演習 1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	180	単位	6
担当教員	鎌田・伊藤・柴・飯村・三好・小林			実務経験	有	職種	レコーディングエンジニア、MAエンジニア、ミュージッククリエイター、ラ				
授業概要											
レコーディングスタジオを始めとする音響系スタジオには様々な仕組みと、特有の機材が設置してある。それらの機器をうわべの手順を追うだけでは無く、信号の流れと音声信号の変化を学ぶ。基本はアナログ的な信号の流れを理解することにより、メーカーや機種が異なってもオペレートが可能となる。また、後期の専攻選択の参考となるよう各専攻の音の取り扱い方も学ぶ。											
到達目標											
初期段階ではポータブルミキサーを使いながらミキサー卓の音声信号（電気信号）の流れを理解する。入力された音声信号が増幅、分流、減衰などを行いながら出力されている事を把握する。そして各種スタジオ機器についてもその役割と操作方法について理解する。特にマイクロフォンはダイナミック、コンデンサーともに現場で多用されている物の特徴と名称も取り扱いと共に覚えることを目標とする。											
授業方法											
演習部分では講義形式で行われ、実習の予習・復習となる。基本は班行動で行い、コミュニケーション力も養っていく。											
成績評価方法											
課題提出、レポート提出、グレード試験、実演を総合評価とする。											
履修上の注意											
この授業では、音を扱うプロとしてノイズと捉えられる授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は実習関連の試験を受験することができない。											
教科書教材											
音響映像設備マニュアル（2019年改訂版）、プリント配布											
回数	授業計画										
第1回	演習：マイクケーブル半田ごての使い方をマスターし、今後も使う自分用のケーブルを製作できる。										
第2回	実習：スタジオ概要スタジオの構造と各機器の役割を理解する。また正しい電源の入れ方もできるようになる。										
第3回	実習：ケーブル巻き順巻き、逆相巻き、マルチケーブルの巻くことができる。										

第4回	演習：マイクロフォン・スタジオ概要基本的なマイクロフォンの種類、扱い方がわかる。スタジオの構造と各機器の役割を理解する。また正しい電源の入れ方もできる。
第5回	実習：各機器の立ち上げスタジオでマイクロフォンやCDなどの音源を試聴するための操作ができる。
第6回	実習：スタジオ機器の基本操作各周辺機器・パッチなど接続ができる。
第7回	演習：外録機材・操作レコーダーの使い方とマイクを適切に使うことができる。
第8回	実習：マイクケーブル半田ごての使い方をマスターし、今後も使う自分用のケーブルを製作できる。
第9回	実習：マイクロフォン1基本的なマイクロフォンの種類がわかる。
第10回	演習：各機器の立ち上げスタジオでマイクロフォンやCDなどの音源を試聴するための操作ができる
第11回	実習：マイクロフォン2マイクロフォンの取り扱い、機能がわかる。
第12回	実習：外録実習レコーダーの使い方、マイクを適切に使うことができる。
第13回	演習：ミキシングコンソール1 ポータブルミキサーへマイクなどの接続、立ち上げができる。
第14回	実習：ケーブル取り扱いまとめケーブル巻き、逆相巻きのチェック。きれいに早く作業ができる。
第15回	実習：マイクロフォンまとめマイクロフォン種類、構造、取り扱い、確認・チェック。